

道徳授業学習指導案

日時 平成24年10月9日(火) 第4校時

11:45～12:35

対象 第2学年B組 39名

授業者 世田谷区立駒沢中学校教諭 栗橋 亜紀子

場所 2年B組教室

1 日時 平成24年10月9日(火) 第4校時

2 主題

2-(3) 友情、信頼

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

ライバルとは、ただ実力が伯仲しているだけでなく、互いに相手を認め合う気持ちが通じ合った間柄を指す。互いに切磋琢磨し、時には精神的な支えにもなるライバルは、スポーツだけでなく、あらゆる分野において、人間の成長を促してくれる。友情も同じであろう。

(2) 生徒について

中学生の人間関係は、かなりの広がりをもってくる。クラスや学校の様々な集まりを通じてできた仲間集団が、中学生にとって大きな影響を与えるようになる。自分に対する仲間の態度や評価が、中学生の自己概念に大きな影響を及ぼし、自己嫌悪のもとになったり、自信や自尊心の高揚につながったりする。生徒同士の間にも生まれる信頼と友情は、生徒の人間的な成長にとって何ものにもかえがたいものである。友達のよさを発見し、信頼を基盤として成り立つ友情が人間としての生き方の自覚を深めるうえで尊いものであるかを実感させたい。

(3) 資料について

本資料は、小学生のころから一緒にバスケットボールを続けてきた「ぼく(純)」と康夫の友情の物語である。おとなしい康夫に対して主導権を握っていた純は、自分よりも先にレギュラーになった康夫に対して素直に接することができなくなる。しかし、康夫の「純がいなかったらレギュラーになれなかった。」という言葉で純は我に返る。この資料で、友情とは、親しい関係だけではなく、同等の立場の上において成り立つものであること、互いのよさを認め、互いに補い高め合う関係であることを押さえ、友情の大切さを学ばせたい。

4 生徒の様子

この時期の生徒は、日々の友人関係が円満であることを強く願っている。そのことが無批判な同調を招き、表面的な付き合いに終始することにつながることもある。時に、激しい口論になってもぶつかり合い、高め合うような場面があってもいいはずであるが、これを避けようとする傾向にある。

5 使用資料

副読本「きみがいちばんひかるとき 16 友達はライバル」 光村図書

6 本時の指導の流れ

【ねらい】 友情が互いに同等の立場の上に成り立つものであることを理解し、互いを補い高め合う友情をはぐくんでいこうとする心情をはぐくむ。				
	学習指導	発問と予想される生徒の反応など	ICT	留意点
導 入	1 「友達ライバル」という言葉から、友達とのかかわりを振り返る。	① 友達をライバルと思ったことがありますか。また、どうしてそう思ったのですか。 ・ 個人技のスポーツでは友達でもライバルだ。 ・ いつも勝っていた競技で負けたとき。	テレビ	● バスケットボールの試合を見せ、興味を高める。
展 開	2 「友達ライバル」を読んで、支え合い高め合う友情について自分の考えを深める。	① 「ぼく」が「康夫のシュートがきまるのをねたましく見てい」たのはなぜでしょう。 ・ 自分の方が上手だと思っていたので焦った。 ・ 康夫は自分だけが選ばれたことを申し訳ないと思っていた。 ② 康夫はどんな思いで「純がいなかったら、レギュラーにもなれなかった」と言ったのでしょうか。 ・ 純と一緒に練習をしてきたことで実力がついていたと思っている。 ・ 退部しないで、またいっしょに練習しよう。 ③ 「ぼく」は康夫の言葉によって、どんなことに「はっと気がついた」のでしょうか。 ・ 康夫が自分を支えていてくれただけでなく、自分も康夫を支えていたこと。	書画カメラ	● 「ぼく」と康夫のかかわりを整理して板書し、「ぼく」にとって康夫はどのような存在であったのかをとらえる。 ● 「ぼく」の康夫への気持ちの変化が表れている表現をとらえる。 ● 康夫が別れ際にぼつと言った言葉から、康夫の気持ちを読み取る。 ● 互いに認め合い、高め合うことが友情なのであることに気付かせたい。
終 末	3 友達がいたからがんばれた経験を振り返る。 4 これからの友達とのかかわりを考える	① 友達がいたから「がんばることができた」ということを思い起こしてみましょう。友達はあなたをどのように支えてくれましたか。 ・ 部活動でもめたとき、「相手の気持ちも考えてあげよう」と忠告してくれた。 ② これからどのように友達とのかかわっていこうと思いますか。 ・ 苦しいこともいっしょに乗り越えたい。		● なるべく具体的に語らせたい。 ● 自分の思いを発表させ、学級に広めさせたい。

7 評価：友情は互いに対等な立場の上に成り立っていることに気づき、友達を大切にしようとする心情が高まったか。

16 友達はライバル

2年 組氏名

1. 康夫はどんな思いで、「純がいなかったら、レギュラーにもなれなかった」と言ったのでしょうか。

[illegible]

2. 「ぼく」は康夫の言葉によって、どんなことに「はっと気がついた」のでしょうか。

[illegible]

3. 友達がいたから「がんばれた」と思うことを思い起こして、友達はあるあなたをどのように支えてくれたか書きましょう。またあなたはどのように友達を支えていこうと思うか書きましょう。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.